

続く挑戦、未来をつむぐ

# 大雄会の挑み人

スタッフ特別インタビュー



大雄会クリニック  
外来化学療法室  
薬剤師

社会医療法人大雄会 薬剤部副科長。「がん薬物療法認定薬剤師」の資格を有し、現在は大雄会クリニック外来化学療法室の専任薬剤師として、外来患者様の抗がん剤治療を担当。一方で管理職として、薬剤部全体の業務が円滑に進むよう管理を担っている。

※所属・肩書等は取材時（2023年12月時点）のもの です。

続く挑戦、未来をつむぐ。



社会医療法人  
大雄会

大雄会は、共に未来をつむいでいく仲間を募集しています

募集職種・条件等は、お気軽に  
採用担当までお問い合わせ下さい

採用担当  
直通電話

0586-24-8891

受付（平日のみ）  
8:30～17:30



## 大雄会ではどんなお仕事をされていますか？

外来化学療法室の専任薬剤師として、外来患者様の抗がん剤治療を担当しています。患者様へ安全ながん薬物療法を提供できるように、他職種と常に連携をとりながら業務をしています。他には、院内で使用する医療用麻薬の管理や、管理職でもあるので薬剤部全体の業務が円滑に進むように試行錯誤しながら、日々奮闘しています。

## 大雄会でのお仕事のやりがいを教えてください。



私は15年前に「がん薬物療法認定薬剤師」を取得しました。以降は大雄会のがん薬物療法に関して中心的な役割を担わせていただいています。がん薬物療法は年々進化しており治療内容は複雑化しています。新しい薬も数多く発売され、知識を更新していくのは大変ですが、患者様からだけでなく、医師や看護師からも薬物治療について相談してもらえることがモチベーションにもなっています。私が回答・提案したことが患者様の治療に影響を及ぼすことになるので、責任の重さも感じますが、やりがいにも繋がっています。

## 薬剤師になろうと思ったきっかけは何ですか？

子供の頃から、手に職をつけて経済的自立をした大人になりたい、大学は職業に直結した学部に進みたいという気持ちが強くありました。医療は誰にとっても必要で、国家資格である専門職ならずっと働けるのではと、当初は薬剤師について正直よく分かっていませんでした。薬学部に入塾してから薬剤師がどんな仕事をしているのかを詳しく知り、その中でも病院薬剤師に魅力を感じてこの道を選びました。仕事なので苦勞もありますが、周りの人に助けをもらいながら楽しく仕事を続けられています。



## 今後、大雄会でどんなことに挑戦したいですか？

大雄会に中途採用で入職した当時は、自分がかん治療に関わることになるとは全く考えていませんでした。日々の業務を行う中で、縁やタイミングが重なって認定薬剤師となり今に至りますが、今後は自己研鑽を続けて専門薬剤師を目指すことに加え、後輩の育成をして薬剤部として質の高いがん薬物療法を提供できるようにしていきたいです。

医療環境も変化しており病院薬剤師に求められることも増えています。病院を選んで入職した薬剤師が、それぞれに自分の得意とする分野を見つけ、目標をもって仕事ができるように、そして長く働き続けられるような職場環境と仕組みを整えていくことも私の今後の挑戦としたいと思います。

